

地元チームも奮闘



中学生の部決勝



応援にも熱が入る！



一般の部決勝へ



## ビーチサッカー青森県大会inこどもり

# 激闘の2日間！

7月19日(土)・20日(日)の2日間、折腰内海岸でビーチサッカー青森県大会inこどもりが開催されました。全117チーム(中学生20、女性12、一般85)が参加し、予選リーグやトーナメントを戦いました。当町からも一般3チーム、中学生4チームがエントリーしました。優勝チームが沖縄での大会へ招待されるこの大会は年々レベルも上がってきたといわれています。

初日の中学生の部決勝は、延長でも勝負がつかず、PK勝負となり、敗れたチームの悔し涙が印象的な試合となりました。2日目は、女性、一般の部の決勝トーナメントが行われ、一般の部は準決勝2試合ともPK戦となりました。上位チームは力の差が少なく、どのチームが優勝してもおかしくない大会となりました。

### 【大会結果】

#### ◆中学生の部

優勝…TATEOKA FC U-15(五所川原市)  
準優勝…トゥリベルデ(五所川原市)  
3位…トゥリアランチョ(五所川原市)  
最優秀選手…高橋真斗(TATEOKA FC U-15)  
優秀選手…鈴木一真(TATEOKA FC U-15)  
佐藤佳祐(トゥリベルデ)

#### ◆女性の部

優勝…ちーむ ふくだ(弘前市)  
準優勝…づあと(青森市)  
3位…YDKナカスポ(八戸市)  
最優秀選手…武田華奈(ちーむ ふくだ)  
優秀選手…鈴木千尋(ちーむ ふくだ)  
佐々木良美(づあと)

#### ◆一般の部

優勝…筒木坂FC(つがる市)  
準優勝…タフボーイズ(五所川原市)  
3位…ビストロ・ヒロ/青森スタリオンズ(五戸町)  
最優秀選手…鹿内達也(筒木坂FC)  
優秀選手…成田航大(筒木坂FC)  
三橋 淳(タフボーイズ)

※一般の部優勝・準優勝チームは、8月17日(日)第9回全国ビーチサッカー大会東北大会へ出場します。また、優勝した筒木坂FCは、来年3月に開催される沖縄ビーチサッカーフェスティバルへ出場します。



ホタルまつりinなかどまり

## 飛び交うホタル

ホタルまつり実行委員会(会長・荒関壽久)が、7月12日(土)、13日(日)の2日間、ホタルを観賞しようと滝ノ沢砂防愛ランドで、ホタルまつりinなかどまりを開催しました。

2日間で約800人の観賞者が集まり、中でも初日は、心配された台風も遠ざかり、ホタルをみようとして地元小中学生や家族連れ、町外からもホタル列車で100人の観賞者が訪れました。会場の用意されたテーブル・イスが足りなくなる程のにぎわいをみせました。

開会式では、荒関会長や来賓のあいさつに続いて、津軽鉄道(株)澤田社長が列車などで集まった募金をまつりに役立てていただきたいと、まつり実行委員会へ寄附しました。

このホタルまつりは、会場へはシャトルバスで移動します。今年も中里高校のボランティアガイド11人と役場職員9人が会場までの移動中に、まつりの概要、ホタルの知識、観賞時の注意点などを説明しました。

初日には、地元新聞店がまつりを盛り上げようと東奥日報キャラクター「ジュニ子」と一緒に、集まった子どもたちとじゃんけん大会を行いました。

さらに、来年成虫となるホタルのために餌となるカワニナを放流。オカリナ演奏や詩の朗読が披露され、ここちのよい音色が響き渡りました。

会場では、その日のオススメ品を用意して地元6店舗が出店しました。また、昨年に続いて、お茶の体験コーナーが設けられ、来場者をもてなしました。

ボランティアガイドを担当した高校生へのインタビューもあり、3年連続ガイドを務めた同校3年工藤さんは「1年目にお客さんに大変喜んでいただいたことをきっかけに毎回参加した。今年でボランティアは最後だけど、また遊びにきたい」と話していました。

主役のホタルですが、湿気のある好条件となり、帰り道に飛び交う姿を見ることができました。雨の降った2日目にはより多くのホタルが乱舞。来場者たちは「こんなにたくさんのホタルを見れるとは思わなかった。きれいで感動した」と喜んでいました。



カワニナの放流



じゃんけん大会



にぎわうまつり会場